

令和6年8月30日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 戦略的創造研究推進事業 ALCA-Nextにおける 2024年度新規研究開発課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、戦略的創造研究推進事業 ALCA-Nextの2024年度における新規研究開発課題および研究開発代表者を決定しました。

本プログラムは、カーボンニュートラルへの貢献という出口を明確に見据えつつ、幅広い領域でのチャレンジングな提案を募り、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジー創出を目指すものです。

2024年度の提案募集は、2024年3月14日～5月8日に実施し、産官学各界より136件の応募がありました。

募集締め切り後、プログラムオフィサー（PO）が領域アドバイザー（AD）らの協力を得ながら書類選考と面接選考を実施し、各技術領域において以下の通り採択を決定しました。

事業全体統括 プログラムディレクター（PD）：魚崎 浩平

＜技術領域＞	採択数
「エネルギー変換・蓄エネルギー」領域（PO：渡邊 正義）	4件
「資源循環」領域（PO：渡邊 正義）	2件
「グリーンバイオテクノロジー」領域（PO：江面 浩）	4件
「半導体」領域（PO：黒田 忠広）	2件
「グリーンコンピューティング・DX」領域（PO：黒田 忠広）	3件

各技術領域でのマネジメントのもと、成果最大化に向けて研究開発を推進します。

事業および選考・採択結果の詳細は下記ホームページを参照してください。

ALCA-Nextホームページ URL：<https://www.jst.go.jp/alca/index.html>

採択課題一覧など URL：<https://www.jst.go.jp/alca/koubo/2024/list.html>

### ＜添付資料＞

参 考：戦略的創造研究推進事業 ALCA-Nextの概要

### ＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

武内 里香（タケウチ リカ）

Tel：03-6272-4004 Fax：03-6268-9412

E-mail：[alca-next\[at\]jst.go.jp](mailto:alca-next[at]jst.go.jp) ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

## 戦略的創造研究推進事業 ALCA-Next の概要

戦略的創造研究推進事業 ALCA-Next の概要および技術領域の詳細内容は、事業ホームページ (<https://www.jst.go.jp/alca/index.html>) にて公開しています。

### プログラムの概要

本プログラムは、カーボンニュートラルへの貢献という出口を明確に見据えつつ、幅広い領域でのチャレンジングな提案を募り、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジー創出を目指します。

現在、世界各国においてカーボンニュートラルの実現に向けた動きが加速しています。今後の温室効果ガス（GHG）削減目標の達成や将来産業の創出に向け、既存技術の導入だけでなく新規技術の創出が必要です。

ALCA-Next では、革新的な技術シーズの創出に向けて、日本のアカデミアの将来的な貢献が大きく期待できる科学的にも未解明の部分が多い技術領域を設定し、基礎研究を推進するとともに、研究開発成果の将来的な社会実装を見据えた研究開発を推進します。そのため、採択時には、個々の研究者の自由な発想に基づいた、挑戦的な課題を積極的に採択しますが、研究開発開始から4年度目を実施する“ステージゲート評価”において、科学的な先進性に加えて、カーボンニュートラルへの貢献可能性などの観点から研究開発の継続／中止について厳密な評価を行います。

本プログラムの運営は、JST が定める PD が統括します。提案された課題の選考や採択した課題の研究開発マネジメント・ステージゲート評価・事後評価など、各技術領域におけるマネジメントは、JST が定める PO が、AD らの協力を得ながら行います。

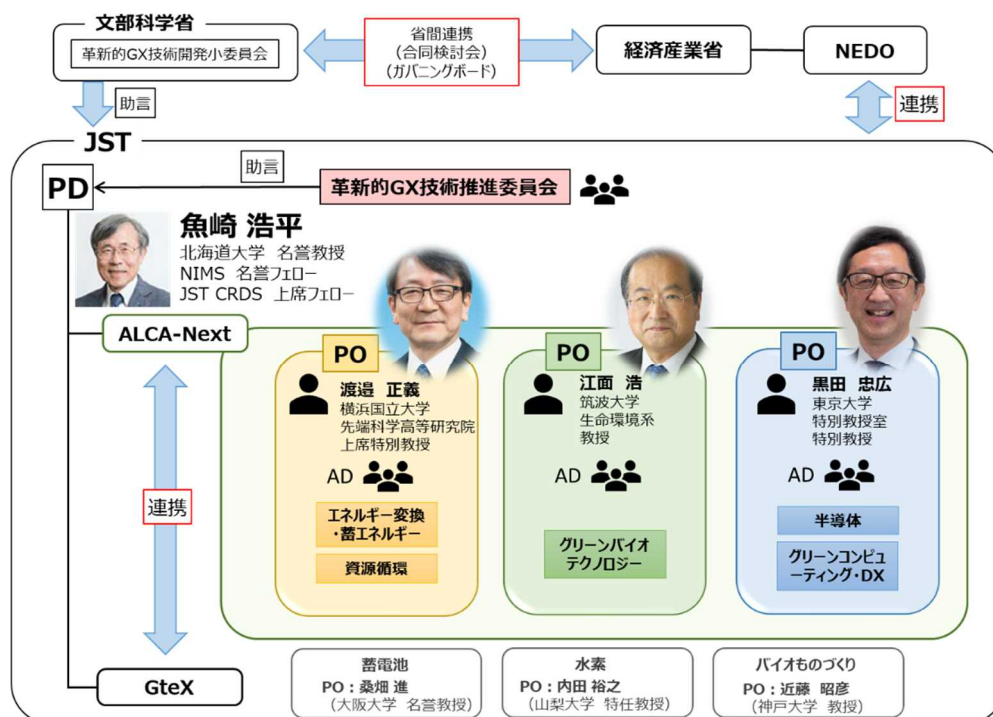


図 運営体制